

高校卒業後、家業の定置網で親子操業

志々伎漁業協同組合 楠富 康貴さん 24歳

漁業暦6年

楠富さんは、定置網漁業と観光定置・民泊を営まれています。

楠富さんは、平戸島の南端にある宮之浦地区で、父とともに定置網漁業を営んでいます。子供の頃から漁業を生活の一部とした環境で育ち、地元の高校を卒業した後、迷うことなく大好きな漁業の世界に飛び込みました。最近、観光定置・民泊にも力を入れており、一軒家を購入し、10名程度の観光客が一度に宿泊できるようにリノベーションしました。地元若手漁業者のリーダー的存在。興味を持ったものには、トコトンはまるタイプ(笑)。趣味は、読書。現在、恋人募集中。



地図



経歴

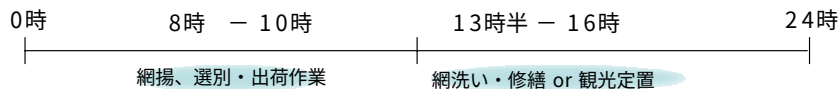
18歳

高校卒業と同時に家業の定置網漁業に従事

▶ 現在

楠富さんの操業スケジュール

定置網操業スケジュール



定置網漁業について

毎朝、7時頃起きて、8時頃に出港します。シケの時でも操業できるように、港から船で10～12分の場所に「定置網」と呼ばれる網を設置しています。

操業は父と私、従業員1名の3名で、朝1回、網を揚げて、獲れた魚の選別と出荷作業をしています。午後からは定置網の網洗いや修繕をしています。

定置網はその時々泳いでくる様々な魚を獲ることができます。いつだったか、30～35kgのクロマグロが5本も入ったことがあり、この時は思わず父とガッツポーズをしてしまいました。

私は、子供の頃から漁業の仕事を見てきたので、自然と仕事の流れがわかっていました。そんな私にとっても、漁業は自然相手の厳しい仕事です。

頭と体を使って工夫した成果が、良くも悪くも、すぐに分かるので、非常にやりがいがあります。

多くの失敗の中からいくつの成功を拾えるか、毎日地道に、あきらめず努力していく。一生勉強だと思っています。

観光定置・民泊について

観光定置は、予約が入った日の午後にお客さんを船に乗せて、操業の様子等を見せています。最近では、台湾の新婚夫婦が観光定置に来られたとき、カモメに囲まれて祝福されていたようで、非常に喜んでくれました。

獲れた魚は、民泊に泊まるお客様に、その日の夕食として出しており、目の前で獲った新鮮な魚を食べられると非常に好評です。修学旅行生や釣客、海外からのお客様等、年間100人程の方々に利用していただいています。

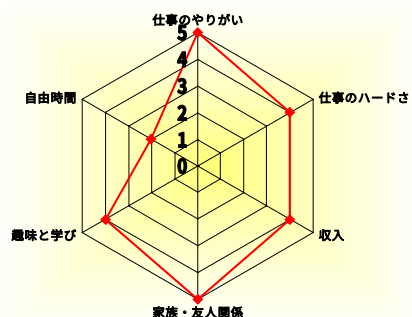


余暇の過ごし方



ほぼ毎日操業なので、時間の自由がかなり制限されます。また、翌日のことを考えると、夜も思い切って遊ぶことができません。休みが取れた日は、友人等と佐世保や福岡に遊びに行ったりしています。最近は極真空手にはまっており、忙しいながらも楽しい毎日を過ごしています。

楠富さんの本音チャート



これから漁業を目指す方へ

習うより慣れる。最初は悩んだり、迷ったりすると思いますが、先輩や仲間の教えを受けながら、あきらめずに続けていくうちに、何とかなっていきます。待っていますよ！